

# 2016年度 事業報告書

特定非営利活動法人暮らしネット・えん

## 1. 事業の成果

前年度は介護保険法・介護報酬改定の対応に追われたのだが、実は今次改正は時差があり、当年度から来年度まで、丸々3年にわたって順次変更中である。一度に変わるのもたいへんだが、次々変わっていくのも負担は大きい。16年度中は、新座市では17年度開始になる「介護予防・日常生活支援総合事業」(以下、総合事業)の要支援訪問・通所サービスの基準がなかなか開示されず、やきもきする一年だった。

同時に次期改定に向けて、厚生労働省管轄の社会保障審議会介護保険部会がスタート、示された原案にはこれまた利用料一律2割負担や訪問介護生活援助切捨て、福祉用具貸与の原則自費負担化、共生型サービス導入(障がい者支援との実質統合)と、捨て置きぬ案が並び、またもや国会集会や要望書提出に追われることになった。

振り返ると、ずっと介護保険制度の変更に振り回され続けてきた歲月である。落ち着いて中長期計画を策定することも、資金計画を考えることもできず、安定した運営ができない。利用する高齢者や障がい者にとって、介護が必要になって不安定な支援体制の下で生きていくのはどれほど不安だろうか。しかも、変更のたびに「介護の社会化」から遠ざかり、とうとう「介護から卒業」などと言い出した。年老いて徐々に虚弱になり、やがて要介護状態になって亡くなっていく、そのプロセスを社会で支えるのが介護保険制度だったはずだ。介護制度の変節を批判しながら、それでも、職員一人ひとりが地域に根差して地道に活動した一年だったと自己評価したい。

**決算状況はまずまず** 収入は前年度比500万円の減収となったが、前年度が予想外の好調だったことを考えるとまずまずの結果に終わった。2室空室があったグループリビングえんの森が満室になったこと、えんの食卓が厨房能力のリミットまで配食数を伸ばしたことなど、介護保険外事業の積み重ねがあったことを記しておきたい。

減収が目立ったのが、この数年好調だった多機能ホームまどかである。利用者数は変わらず、サービス提供頻度もほぼ同じにもかかわらず、前年比1,000万円を超える減収となった。利用者の平均要介護度2.5前後で推移してきたのが、本年度末には1.6となったことが原因となった。初期中期の認知症の場合、要介護認定がますます低く判定されるようになってきていることが推測されることと、居宅サービスの組み合わせでは在宅生活が困難な方の利用が多いことが要因と考えられる。介護度ごとにさだめられた定額報酬なので、平均要介護度の低下は即収入減となる。大きな難題を抱えることになった。

支出では人件費の伸びが大きく、経常利益を前年比の半分にした要因となった。勤続年数が長い職員が多く、介護職員の給与のみに反映させることが義務付けられた処遇改善加算率が報酬の伸び率より大きいことによるものだ。

**『地域に根差したえん』を実感** 「地域包括ケアシステムの構築」は、社会保障全体の目標だ。ボランティアから数えると四半世紀にわたる活動歴がある暮らしネット・えんは、利用者、介護スタッフ、ボランティア、NPO会員、の大多数が地域の住民で、軸足は言うまでもなく地域に置かれている。あるとき「えんは、『利用者』ではなく『地域の市民』を対象にしているNPO」と評された。自覚していなかったが、確かにそうかもしれない。地域の方々も「介護系NPO」というより、地域の拠点として見てくれるようになっている。地域からの行事参加者や、各事業に定例で訪れるボランティアも増えている。

この年度が準備期間になった『だれでも食堂』は、子どもに係わる地域の方々を中心になって準備を進めた。えんが全面的に運営するのではなく、場を提供する、これまでにない形式の新規事業である。

**情報発信のえん** 今年度も機会を捉えてさまざまな形で情報発信に努めた。国や新座市への要望書提出は、NPOえんの責務と心得て行なった。今年度、訪問・通所サービスの総合事業への移行についての要望書を市内8事業所の連名で提出した。

取材要請は、介護制度の現状を伝えるため可能な限り受けてきた。新聞・テレビ・専門誌等々、インタビュー、取材記事、寄稿、多種多様なメディアに登場した。初の海外メディアになった韓国KBSは、グループリビングえんの森を取材、高齢化が進む韓国に新しい形の高齢者居住形態を伝えることができた。

各事業への取材は、利用者と介護家族の協力が必須で快く引き受けていただき可能になっている。

**障がい者支援を見直す** 新しい出会いが新しい展開をもたらしてくれる。7月末、県内の精神障がい者支援団体「やどかりの里」からの来訪もまた暮らしネット・えんに新しい刺激をもたらしてくれた。この訪問をきっかけに、9月「知ってますか、介護保険と障がい者福祉 ～障害者65歳問題を考える～」を社会福祉法人鴻沼福祉会（知的障がい者支援）、公益財団法人やどかりの里、暮らしネット・えんの3法人で開催した。障がい者支援サービス利用者は介護保険適用の65歳になると、介護保険制度利用が優先になるため、数々のミスマッチが起きている。現場が抱える深刻な課題を発信する第一歩となった。また、介護保険法改定で示されている「共生型サービス」にどう対応していくか、障がい支援団体と共に手を携えていくきっかけになるだろう。よい出会いを得た。

**やまゆり園事件を忘れない** 2016年7月26日、神奈川県相模原市の障がい者施設「やまゆり園」で、入居者19人が殺害される事件が発生、衝撃にことばを失った。元介護職員が起こしたこの事件は、介護事業に携わる者は、決して忘れてはならない。弱者に冷たい「空気」が社会を覆う中での事件だ。特殊な事件と片付けず、「だれも排除されない、だれも排除しない」社会を目指すことが、このような事件を起こさない方法であることを共有したい。

## 2. 事業の実施に関する事項（2016年4月1日～2017年3月31日）

### （1）特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	支出額（千円）
居宅介護支援事業	居宅介護支援の提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	受給者の自宅	4人	要支援・ 要介護者 144人	24,444
訪問介護事業	訪問介護の提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	受給者の自宅	53人	要介護・ 要支援高齢者 145人	91,520
障害福祉サービス事業	障害福祉サービスの提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	受給者の自宅	48人	障害児・障害者 50人	訪問介護事業に含む※
通所介護事業	通所介護の提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	デイホーム えん	6人	認知症 要介護者 24人	16,283
認知症対応型共同生活介護事業	認知症高齢者の共同生活介護事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	グループホーム えん	10人	認知症 要介護者 9人	48,190
小規模多機能型居宅介護事業	小規模多機能型居宅介護の提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	多機能ホーム まどか	17人	要支援・ 要介護者 33人	54,528
介護予防事業	介護予防の提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	予防各事業に含む	一人	一人	各介護事業に含む※2
移送サービス事業	移送サービスの提供事業	H28.4.1～ H29.3.31 随時	法人事務所	16人	移送会員 33人	14

グループ リビング事業	高齢者生活共同運営 住宅事業	H28.4.1~ H29.3.31 随時	グループリビング グえんの森	3人	入居者 10人	15,078
障害者総合支援 法に基づく特定 相談支援事業	障がい者に対する 相談支援事業	H28.4.1~ H29.3.31 随時	受給者の 自宅	6人	障害者 36人	居宅介護支 援事業に含 む※3
児童福祉法に基 づく障がい児相 談支援事業	障がい児に対する 相談支援事業	H28.4.1~ H29.3.31 随時	受給者の 自宅	3人	障害児 34人	居宅介護支 援事業に含 む※3
調理・配食事業	高齢者配食サービ ス事業	H28.4.1~ H29.3.31	グループリビング グ内厨房	13人	配食利用者 延べ1234人	21,985
各種相談・高齢 者障がい者生活 関連調査事業	各種相談・高齢者障が い者生活関連調査の 提供事業	H28.4.1~ H29.3.31 随 時	多機能ホーム まどか グループリビング グえんの森	3人 2人	相談者 12人 参加者 52人	100
介護セミナー ・研修事業	介護実習生受入  ケア講座	随 時 12回 3回	各事業所 えんの森 市立中央公民館	9人 5人 6人	実習生 28人 参加者 509人 参加者 60人	72
地域交流事業	認知症カフェ ウォーキングの会 やきいもタイム	12回 H28.7 H28.11 H28.12.6	えんの森 碓氷峠 全生園 えん庭	5人	参加者 553人 参加者 52人 参加者 12人 参加者 100人	261
文化事業	まどかコンサート  みんなのコンサート	H29.3.27  H28.10.30	多機能ホーム まどか 新座市中央 公民館	8人 30人	参加者 55人 参加者 220人	6

※1 障害福祉サービス事業は訪問介護事業に含まれる。

※2 予防訪問介護、予防小規模多機能型居宅介護はそれぞれ訪問介護事業、小規模多機能型居宅介護に含まれる。

※3 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業、児童福祉法に基づく障がい児相談支援事業は居宅介護支援事業に含まれる。

## (2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)